

令和6年度市川市芸術文化祭参加作品

主催・市川市邦楽連盟 & 市川市 共催・劇団市川座

珍釈

渡り鳥 いつ帰る

市川・浅草 荷風散歩

〈原作〉永井荷風 〈潤色・演出〉吉原廣 邦楽演奏付き

“わが街市川”名物の文豪・永井荷風！
もう誰も知らない？ 読みもしない？
そんなあ！ 勿体ない！
という訳で、市民演劇が蘇らせる…
老愁老巧、老醜老輝、永井荷風の世界！

〈作曲・編曲・演奏〉杵屋栄日陽 設楽瞬山 今藤政優
〈照明〉清水昌弘 〈音響・効果〉宮崎裕之
〈舞台監督〉北川妙子 〈宣伝デザイン〉安西真幸

公演会場 市川市文化会館小ホール

公演日時 2025(令和7)年 3月8日(土) 11時(Aプロ)と15時(Bプロ)
3月9日(日) 11時(Bプロ)と15時(Aプロ)
(開場は各30分前 途中休憩あり)

入場料 全自由席(前売)2,000円 (当日)2,500円 子ども・障がい者・介助者1,000円

お申し込み
(お問い合わせ)

市川市邦楽連盟
劇団市川座

090-4592-2515 (松島)
〒272-0834 市川市国分7-12-5 NPO法人いちぶんネット内
TEL 047-369-7522 Mail ichi_bun_net@yahoo.co.jp
HP <https://ichikawaza.jimdofree.com/>

2025年1月10日(金) 発売開始

劇団市川座

検索



永井荷風(ながいかふう)は、明治12(1879)年生まれ。アメリカ・フランスへの外遊後の29歳頃から「あめりか物語」「ふらんす物語(発禁)」を発表。慶応義塾大学文学部教授を勤めて「三田文学」を発刊するなど、一躍有名作家となった。昭和21年(67歳)から34年(79歳)まで、市川市菅野や八幡に老後を暮らした。

あらすじ

幾度もの空襲に遭って憔悴しきった67歳一人ぼっちの荷風さん、昭和21年1月、市川に移り住む。
市川の自然に癒されて“女大好き!”心を取り戻した荷風さん、浅草行脚を復活!
浅草芸人や街娼婦たちと親しんで、おだてられた荷風さん、浅草演劇「渡り鳥いつ帰る」を上演することになる…。

キャスト



交通・アクセス 市川市文化会館

〒272-0025 千葉県市川市 大和田1-1-5

〈電車〉総武線本八幡駅南口より徒歩10分。

都営新宿線本八幡駅より徒歩10分。

京成線八幡駅より徒歩15分。

〈バス〉「文化会館前」下車

プレイガイド

お申し込み
フォーム▶

市川市文化会館 (047-379-5111)

行徳文化ホール I&I (047-701-3011)

